

## ●議事概要（速報）

※正式な議事録については、後日HP上に公開しますので、そちらをご参照下さい。

### 1) 我が国産業の国際競争力強化を図るための今後の港湾政策のあり方について

#### ①答申（案）及び関連資料について事務局より説明を行った。

##### ○委員からの主な意見は以下のとおり

- ・ トランシップ輸送とダイレクト輸送のそれぞれについて、輸送運賃がいくらかというデータがあると、もう少しスーパー中枢港湾と地域の港湾の役割がいろいろ見えてくるのではないかと。それがスーパー中枢港湾の施策の参考になると思う。
- ・ 「港を核とした地域活性化」は港湾整備が企業の立地として実を結んだ非常に具体的な話であるので、もっと全国的にアナウンスしていくべき。
- ・ 産業の国際競争力の強化等について、言及はされているが、国際的な港湾間の競争力についての視点を補強する必要がある。
- ・ 今後の課題に「国と地方との適切な役割分担」とあるが、国家戦略という観点からの問題点は、「国と地方との適切な役割分担」以外にもあるので表現を工夫すべき。
- ・ 「達成すべき成果」の具体性にバラツキがある。臨海部物流拠点や臨海部産業エリアといったこれまで議論してきた内容を盛り込むべき。
- ・ 地域の港湾への施策展開についてもメリハリをつけて実施していくことが重要。
- ・ 産業立地等による地域の活性化の記述がある一方で、スーパー中枢港湾へ貨物を集約するというのは、東京一極集中が効率的であるというように感じられる。産業立地の問題と、コンテナ機能の集約の問題とは別問題であり、表現を工夫すべき。
- ・ ダボス会議でも環境が一番の話題であり、その中でも大半は海運と鉄道の利用促進である。今回の答申（案）でも、環境に関し、海運や鉄道の利用が触れられており、良いと思うが、「達成すべき成果」に向けて積極的に取り組んでいくことが重要。
- ・ 国と地方の関係について、国が地方について指導すべきことは何かという項目を立てて整理し、議論するべきではないか。
- ・ 民間活動への更なる支援については、もう少し記述を拡げても良いのではないかと。
- ・ 港湾手続の簡素化・電子化については、NACCSと港湾EDIのみならず、他の関係システムと一元化など、最新の情報を踏まえて、記述を変更すべき。
- ・ 港湾コスト3割縮減とあるが、港湾コストの定義がよく分からない。コス

トを「見える化」して議論していかないといけない。また、どのように実現していくかについても考えていくべき。

- ・地域の港湾について、もう少し道路、鉄道、空港といった地域のインフラと併せて議論していくべきではないか。

○今回の議論を踏まえ、欠席委員を含め、各委員に再照会を行い、答申（案）を修正した後、パブリックコメントを実施し、3月を目途に答申をとりまとめることとなった。

## 2) 港湾事業関係の中期計画（仮称）について報告がなされた。

○委員からの主な意見は以下のとおり

- ・本分科会での議論と、中期計画について、相互の関係と、社会資本整備重点計画等、他の計画との関係性を整理して示すべき。

○中期計画と他の計画との関係について、全体を整理して改めてお示しすることとなった。

以上